

東京オリンピック・パラリンピックに向けた山梨県アクション2016-2020

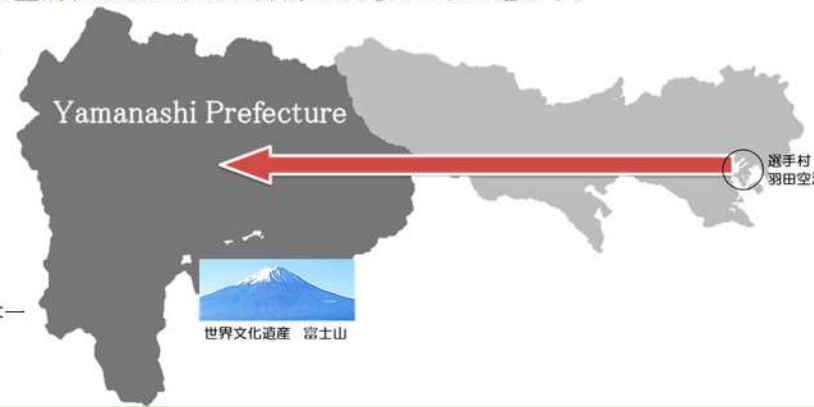
平成28年4月26日

1 2020に向けた取り組み方針

本県は、平成25年11月に東京オリンピック・パラリンピック推進本部を設置し、外国人観光客受入体制の整備等を進めてきました。今般、「ダイナミックやまなし総合計画」を策定し、節目となる2020年を見据え、各分野の社会資本を整備するなど地域の持続的な発展に取り組む中、オリンピック・パラリンピックに特化したアクションを整理し、総合計画と連動して推進していきます。

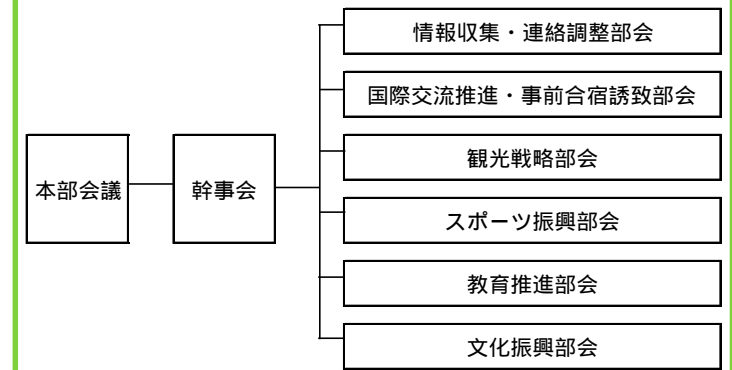
【2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に実現を図る事項】

- 開催地東京に隣接するアクセスの良さ、美しい自然と多様な文化といった地域の魅力を発信し、海外からの訪問客の増加と、スポーツ・文化両面での持続的な交流につなげます。
- 外国人訪問客向けにソフト・ハード両面の観光インフラを整備し、国際観光地の形成を図ります。
- 県民のスポーツ・運動への関心を高め、健康長寿のさらなる延伸につなげます。本県は健康寿命日本一「山梨県障害者幸住条例」が目指す障害の有無を問わない共生社会の実現を図ります。



2 推進体制

山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部



3 山梨県アクション2016-2020

- | | |
|---------------------|--|
| 地域における交流促進 | 市町村や競技団体と連携しながら本県情報を海外に発信し、国際交流を進めます。 |
| 観光振興 | 外国人旅行者への「誘客・プロモーションの強化」「受入環境整備」「おもてなしの充実」などに取り組みます。 |
| スポーツ振興 | 身近な地域スポーツの推進から全国トップレベルの選手の育成まで、幅広いスポーツ振興のため、アスリートによる啓発活動や、スポーツ環境の整備を行います。 |
| 文化芸術の振興と魅力の発信 | 関連イベントを通じて、県民が文化芸術に親しみ・実践する環境づくりを進めるとともに、本県の文化芸術に関する情報を積極的に発信します。 |
| オリンピック・パラリンピック教育の推進 | 国際的に活躍できるグローバル人材の育成や、心のバリアフリーを進めるため、英語教育の充実や海外留学の促進を図り、オリンピック・パラリンピックを題材とした教育を実施します。 |

4 主な取り組み

	2016-2020 主な取り組み内容	持続する効果(オリンピック・レガシー)
地域における交流促進	本県情報の発信 県PRブック、webサイトの作成 等	幅広い分野での交流、地域活性化 グレードの高い国際観光地の形成 競技力の向上 県民の体力向上、健康長寿の延伸 共生社会の実現 本県文化の国際化 文化芸術活動の活性化 人材の資質向上 県全体の持続的な発展
観光振興	ホストタウン登録推進・事前合宿誘致 市町村への説明、国・団体等の情報収集 等	
	外国人旅行者の誘客・プロモーション 東南アジア等でのトップセールス、ICT等を活用した情報発信 等	
スポーツ振興	安全・快適な移動・滞在環境の整備 案内標識や飲食メニュー等の多言語化 等	
	外国人旅行者へのおもてなし おもてなし人材、ボランティアガイド等の育成 等	
文化芸術の振興と魅力の発信	競技スポーツの振興 オリンピック・パラリンピック等で活躍する選手育成 等	
	生涯スポーツの振興 身近な地域でスポーツ・運動に参加する機会の増加 等	
	障害者スポーツの振興 認知度の向上と参加しやすい環境の整備 等	
	障害者の文化活動への理解促進 Yamanashiの文化の発信 県内の魅力的な文化を国際的に情報発信 等	
オリンピック・パラリンピック教育の推進	県民の文化力向上 文化芸術に触れ、参加する機会の増大 等	
	オリンピック・パラリンピック推進気運の醸成 オリンピック・パラリンピックを知り、楽しむ文化活動の推進 等	
	学校等における教育の推進 スポーツの意義、多様性の尊重、国際理解等の教育 等	
市町村・団体等との連携	情報の収集と提供 連絡会議の開催、個別支援 等	国際交流推進・事前合宿誘致部会 観光戦略部会 スポーツ振興部会 文化振興部会 教育推進部会 情報収集・連絡調整部会

* 2016は、各分野において、東京オリンピック・パラリンピック推進が県全体のムーブメントとなるよう、市町村、団体、企業等に働きかけ、できるだけ多くの活動を具体化・可視化させる。
 * 推進は各分野、各主体の取り組みが影響し合うことから、庁内における情報共有をしっかりと行う。
 * オリンピック・レガシーのうち最も重要なものは、「人」であることを意識し、取り組みが県全体に広がるよう留意する。